

カーボンニュートラルの取り組み事例



株式会社少國民社

本社：〒400-0851 山梨県甲府市住吉1-13-1
<https://www.kokumon.co.jp/>



環境配慮を印刷で伝える 取り組み

Q. 100%CO₂フリー電力導入の背景は？

2015年COP21採択をきっかけに、日本は2050年カーボンニュートラルを掲げ、2030年までに46%削減を目標としました。排出量の把握は事業者の責務となり、私たちもCSRの意義を考えると同時に、事業活動の中でどう活かすかを模索しました。その過程で先進企業の取り組みから多くを学び、今後の必要性を確信し100%CO₂フリー電力の取り組みをスタートしました。

Q. RMGTの印刷機が御社の取り組みに果たす役割は？

印刷に使用した電力のCO₂削減量とその価値をお客様に伝えるためには、それぞれの仕事でどのくらいのCO₂が発生しているかを“見える化”することが必要でした。その実現を可能にしたのがRMGTの印刷機です。各ジョブの時間や消費電力を基に算出・表示できるようになり、請求書や納品書に具体的なCO₂排出量を記載することで、お客様への説明に説得力が増しました。

今後は電力量データ集計ソフトを活用し、生産工程全体の電力消費を分析・まとめていきたいと考えています。

株式会社少國民社は、山梨県に拠点を置く印刷会社です。印刷をはじめデジタルコンテンツ事業を展開し、2025年で創業201年を迎えます。

2024年5月より、環境負荷の低減を目的に“100%CO₂フリー電力”の導入を開始。太陽光と水力発電を組み合わせることで、印刷に必要な電力をすべて再生可能エネルギーで賄っています。

今回は株式会社少國民社のカーボンニュートラルの取り組みについて、社長の依田様にお話を伺いました。



オペレーションスタンドの画面にリアルタイムで表示されている進行中のジョブの消費電力量とCO₂排出量

Q. 環境配慮型制作による既存のお客様の反応や新規相談の変化は？

現時点で直接的な反応はまだ限定的ですが、山梨県企業局様から評価いただきました。また、自社で制作したCO₂フリーマークを官公庁印刷物にご採用いただき、信頼性の一助となっています。一般企業への普及活動も並行展開中であり、より広く社会に浸透させていくことを目指しています。

Q. カーボンニュートラル導入を検討する企業へのアドバイスは？

導入を決めたら、できるだけ早く取り組みを始めることを強くお勧めします。設備改造や電力インフラ整備には時間も投資も必要で、思い立ってすぐに実現できるものではありません。現時点では直接的な収益にはつながりにくいですが、環境印刷はいずれ常識となります。

だからこそ今のうちから備えることが、将来の大きな競争力につながると考えています。